

第4章 デジタル活用の基本理念



第4章 デジタル活用の基本理念

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

「スーパースマートシティ」の実現の向け、デジタル化を「目的」ではなく、「3つの社会」と「NCC」の中で様々な課題解決や目標実現の「手段」として効果的に活用し、取組の効果をより一層高めながら、他の社会への波及・相乗効果を発揮できるようにしていくことが重要です。

官民の各主体が連携し、市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できる環境を構築していくとともに、デジタルを通じてまちの新たな活力を創出するなど、本市のより良い未来(=スーパースマートシティ)を共創していくことを「デジタル活用の基本理念」として定めます。



人に優しく まちを元気に 未来を創る 雷都のデジタル

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

人に優しく まちを元気に 未来を創る 雷都のデジタル

・『人に優しく』には、デジタルが不慣れな方なども含め、多様なニーズに寄り添い、支え合いながら、デジタルの恩恵を市民一人ひとりに行きわたるようにしていくという意味を込めています。

・『まちを元気に』には、事業者や地域活動団体など多様な主体がデジタルを活用し、事業等の効果の最大化を図ることで、まちに新たな「活力」や「魅力」を創出していくという意味を込めています。

・『未来を創る』には、市民、事業者、行政等が、それぞれの状態に応じたデジタル化やDXを通じて、地域課題の解決、新たな価値の創出に取り組み、次世代の担い手となる「人」を育成しながら、より良い未来(=スーパースマートシティ)を共創していくという意味を込めています。

・『雷都』には、本市の「気候・風土」と実りを象徴する「雷」に由来する呼び名、そして、LRT(「ライトライン」)の開通やJR宇都宮駅東口地区(「ライトキューブ宇都宮」等)など新たなまちを連想させる「ライト」を用いて、デジタルの活用により新たな生活が始まっていくという意味を込めています。